

- 1 .件名:「新規制基準適合性審査に関する審査会合への対応について(高浜1,2(3,4)号炉)」
- 2 .日時:令和3年11月16日(火) 16時50分~17時30分
- 3 .場所:原子力規制庁 9階A会議室
- 4 .出席者  
原子力規制庁:(・・・TV会議システムによる出席)  
(新規制基準適合性審査チーム)  
関企画調査官、竹田上席安全審査官、鈴木主任安全審査官、岩野調整係長  
技術基盤グループ  
システム安全研究部門  
山本技術研究調査官、酒井技術研究調査官  
  
関西電力株式会社 原子力事業本部 原子力発電部門  
燃料保全グループチーフマネジャー 他4名
- 5 .自動文字起こし結果  
別紙のとおり  
音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- 6 .配布資料  
提出資料:なし

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい。当高浜 1 号機の SFP 未臨界評価の設置変更許可の人審査会合の
0:00:09	ラップアップを行います。まず、
0:00:12	すいませんが今回のコメントホワイトボードを読み上げてください。よろしくお願 いします。
0:00:20	はい、関西電力のシムラでございます。それでは本日いただきました事項に ついて、ホワイトボードもとびあ挙げさせていただきます。
0:00:28	まず としまして、資料 1 - 2 の条件に基づき解析を実施することといただきま したホテルの方固まりましたので今後着手をして参りたいと考えております。
0:00:42	ですけども、
0:00:44	利用算出におけるオリフィスによる圧損に関する情報を補足説明資料に追加 することといただきました。こちらについてはちょっとオリフィスの情報が不足し ている箇所がございましたので、追加をしようと考えております。
0:00:59	具体的にはですね、資料 1 - 3 の 12 ページ。
0:01:06	オリフィスの両方
0:01:10	ずれとか光景を記載しておりますけどもちょっとこちらに具体的に圧損としては どういうふうに求めて課題としてはどの程度になるのかという情報をこの中に 追加しようと考えてございます。
0:01:28	セキ としまして、ガドリ入り燃料の存在を考慮しないことによる実効増倍率 に影響をより精緻に確認することをいただいてました。
0:01:39	こちらにつきましては、
0:01:44	資料 1 - 1 - 参考 4 - 2。
0:01:48	他方で、定性的な影響とは、ご説明をさしていただいたんですけども、今後で すねこの参考 4 - 2 に記載してますと、ガドリの燃料の存在を考慮した場合で すとか、その他燃焼燃料が存在することの影響に対して、
0:02:08	もっと多面的にですね
0:02:11	例えば、
0:02:12	YKT 有限体験したりですとか、水分条件を水用降らせてみたりですとかそうい うところでもう少し体系的な評価をして結果としてお示したいと考えてござい ます。
0:02:25	店舗あとボード こそ、申請目的として記載している安全性の点について再整 理することと、
0:02:33	絵で見ることで、こちら資料 1 - 1 - 1 ページ目に我々安全性向上という言葉 を記載をしてございますけども、こちらについて再度ですね、運用面の苦情なの かっていうところをもう少し整理をしまして、
0:02:51	またご説明をしていきたいと考えております。

0:02:55	実態としてまず状に流下すると思われる液膜について燃料棒周りに一様に形成され、液膜が形成されるとする今回の条件設定が最適評価手法における条件として適当か説明することと、いただきました。
0:03:14	来られにつきましては、
0:03:18	実態としては、確かについ上流かというところが
0:03:23	そのように流下すると考えられる。
0:03:26	とは思いますが、そちらそのコード上で、正規にインプットする規定解析にて確認をするということはちょっと難しゅうございますので、
0:03:36	一方ですね、参考の
0:03:39	資料1-1-参考-4-4-4ページ。
0:03:44	の方でK今後ですね、我々液膜あった。
0:03:49	を変化させた解析
0:03:53	行って参ります。それによってですね
0:03:58	要はいつまでも少し厚くなったりですとか、そういった場合でも3日間、担当できるのかってところを今後確認して参りますので、その中でご確認をいただけるのかなと。こちらの解析を進めることで御確認をいただけるのかなと考えてございます。
0:04:15	ここは高度としては以上。
0:04:17	と認識しております。竹森ありましたら、ご指摘の方をお願いします。
0:04:25	また、
0:04:27	少し待ってください。すいません。
0:04:30	管路解析することが決まったよ。
0:04:35	なんかだから水位と書かれて、どれぐらいあるのとかそんな、どれぐらい評価が変わってきたりするのかもしれないからやっています。私の話、
0:04:45	ガドリ燃料においてねにおいてどうだろうってことです。
0:04:51	なお関係ない。
0:04:53	やらせたほうがいいですか。
0:04:55	何かよくわかんなかったんですけど、いや、
0:04:57	かぶりが入る入ってる燃料が入ってない燃料の違いを説明しろって言っていただけないんで水道関係して、いや、だから次によってもガドリフィリピン流によって何か変わるみたいなことから、今回、
0:05:11	うん。
0:05:14	そうすとかガドリガドリ燃料で水位が変わったときのほうが、
0:05:19	厳しくなる可能性もあると考えてないってないとは思うけどこれやってみるっていうんではないかと。
0:05:28	だけど、
0:05:29	わかんないうちに引き続き、
0:05:42	それで、

0:05:46	はい。
0:05:50	ちょっとその趣旨がわからないので、そこの審議をして、こっちはちょっと理解できなかったんです。
0:05:58	規制庁タケダです。すみません。 をもう1回ちょっと説明させていただいていいですか。
0:06:07	関西電力のシムラです。 ですね、
0:06:16	参考の4-2をご参照いただきたいんですけども、
0:06:31	会合のほうであって、富化度いいいい新燃料まあを考慮していないとしている我々の解析条件に対して、その影響を考慮していきたいということに関する実効増倍率に影響というものをご質問いただいたかと認識をしております、
0:06:53	そちらにつきましては
0:06:56	通常ウラン賃料のほうが高反応度が高いということで、
0:07:02	ご回答を差し上げたところを少し
0:07:07	はい。
0:07:09	この今のサトウ4-2で実効増倍率下の約0.3というぐらいの事項と書いたら軽減するというところに対して、もう少し先生方といいますか、正しさを今後確認するというのもって、
0:07:26	仰られたと思いますので、今、我々としてはその子の最高4に対する
0:07:33	要は湯水の状態で発で診療敷き詰め無限体系としてしているところに対してもう少し飛び込む規模我々が設定する基本ケースですとかそういうところの体系条件に合わせた評価をして参りたいなと考えた次第でございます。
0:07:50	タケダさんが要求したからって言ってるけども、タケダさんどういう意味ですか。
0:07:55	うん。
0:07:57	いや、単純に行って、
0:07:59	はい。
0:08:00	てください。
0:08:02	タケダです。ちょっと待ってください。すみません。
0:08:08	ガドリ燃料は考慮せず、
0:08:10	ウラン燃料だけで、
0:08:12	あります。
0:08:14	やっぱそれだけなんです。
0:08:16	昔の影響は考えづらい出して答えている危険性、
0:08:23	だから話って、例えばBランクアップ近づくんだけど、こうでありましたよね。はい、関さ状態というものがあるべきかなと私はそれは燃焼を考慮したときの、そういう話ですよそれで今回新燃料名称考慮しないから。
0:08:43	ガドリなしの

0:08:45	ウラン燃料が受注反応度が一番高いですよそれだけの体力とそうですね、それだけじゃ。
0:08:52	これはやっぱりでした。ただ、別途ごめんね。これこれ自身が実は無限体系でやっているの、これでコンマ2、コンマ3とかコンマ2ってあんまりそのそんな会計の話じゃなくて、うん、単純にその余剰反応度か燃焼が進んでたときに、逆転しないかどうかっていうのは難しい記念議論していただけますでしょうか。てるんだけど。
0:09:14	今回はもう燃焼考慮しないからですね。だから別に。
0:09:19	ガドリ入り燃料は解析上は期待しませんと、ウラン燃料だけでやりますって言えばもうそれで終わりなんじゃないところで答えるです。
0:09:32	それがだから水とどう関係あるかとかわかんない。
0:09:37	そういうは別な話だと思うんですけど。
0:09:42	はい。
0:09:44	いやだからタケダさんが何を求めたからですよ。
0:09:47	だけどそんな言ったからそういうふうにありますので、回答者が実効増倍率の騒ぎ見れば良いと思ってるけど、やや数字だとその内容や方法等は、
0:10:00	この指摘事項ペーパーもなのってことで、
0:10:08	PaaS
0:10:14	具体的に書いているっていう話が、これは分けて、
0:10:20	うん。
0:10:20	私は私が聞けて言ったのは単純に隔離燃料まで考慮しないのかだけお聞きなさいってだけで、
0:10:29	もし考慮するっていうんだったら、電力するっていうことだったら燃焼進めてみて、
0:10:35	どうなんですか、話は出てくるけど、考慮しないって言った時点で比べる敷き詰めですけど、あまり育ったみたい。
0:10:45	うん思うんだけど。
0:10:47	わかりました。そこまでいなくて、タケダさんとポンプをいわゆる定性的にはその通りなんで、別にいいやんなくてもいいんであれば間だったらそこはちゃんとさ、ウラン燃料だけでやりますって条件変わってくださいとかさ。
0:11:03	言えばそういういただきたいんですが。はい、その参考4の説明をもって廃止側の妥当性を説明するという意味合いですよ。
0:11:14	解析条件条件が同時燃料は考慮してだけ書いてます。
0:11:27	何かタケダさんはそんな風力ができたりですねいわゆるついて、
0:11:32	逆にこの裕度で若干全くもって私が言う、
0:11:36	これ、
0:11:38	今日は言い切れなかった。
0:11:40	タケダさんが

0:11:42	昔のイメージがあって、
0:11:45	うん、燃料でいいかというのも
0:11:48	そうすると、づらくなってくるでしょっていうところもよろしいですかって聞きたかったんだろうけど、
0:11:56	そこは私は燃焼が
0:11:58	しないシンムラでやるから関係ないよね。
0:12:10	思います。
0:12:12	はい。
0:12:14	規制庁の武田です。 なんですけれども、絵とかで沼津E B燃料の存在を考慮しないっていうことが
0:12:25	もう明確だってことはもうあれですかね、完全に冷凍条件表に記載するってことはできますか。
0:12:36	関西電力のシンムラです。はい。条件表のほうには記載することは可能です。
0:12:42	はい。規制庁のタケダでその上で、参考4-2でこれっていう減退えと無限体系なんですけれども、給源タケダで同じような傾向がほぼ等しいってことがいえるんであればそれで終わりにしようかと思うんですが、
0:12:59	いかがでしょうか。はい、関西電力のフクハラです。そうしていただけると非常に
0:13:05	ありがたいですか、或いはそこは自明でするので問題ないかと思います。体系が変わっているものも、通常ウラン燃料とカロリーウラン燃料ラックは実効増倍率のその優劣といいますか大小関係というのは変わってこないと思います。
0:13:21	規制庁のタケダで、じゃあそれをお願いします。あと他に関西電力から何かございます。
0:13:29	はい。お話を聞いた話ではもう削除でよろしいですかね。はい。当市指摘としてちゃったか。
0:13:39	はい。だからはい。規制庁タケダです。指摘させは言ったので、そういうふうな回答の方針で動いていただければと思います。
0:13:51	そういうものであればもう少し書き方をちょっと工夫させていただいて
0:13:59	アウトプットとしては、条件表の燃料の量関西電力の小原です。
0:14:07	条件表の燃料条件のところに
0:14:11	ガドリ燃料は考慮せずに、全部標準ウラン燃料としますよということを宣言するということは開始のアウトプットをにするとして、それと対応づくような形のコメントの書きぶりに少し修正させていただくということでもよろしいですね。
0:14:31	規制庁の武田です。了解しました。
0:14:35	今は海進
0:14:38	入る前
0:14:39	議論したいから。
0:14:42	考え方。

0:14:43	示した結果、
0:14:46	問題ですね、 に関しては、さっきさして今後どういうふうな解釈を示していくかと考えて回答しておりますことを言っていて、だからそこはさ、あの考え方だけ示してもらって、解析は運用までやんなきゃいけないねって。
0:15:05	だけ言っているというって、
0:15:08	。
0:15:10	一方、
0:15:11	ごめんなさいえっとまずそれからあともう一つ のコメントなんですけれども、まず、これに関しては解析不明と考え方をまずへと示してもらえるとありがたいです。
0:15:27	関西電力のシミュラです。ちょっとあの確認をさせていただきたいんですけども、今考え方とおっしゃいましたのはちょっと会合のほうで私のほうからですね、
0:15:41	保守的かどうかという点についてはその筋状に落下する、つまり燃料棒に出たトマト割り付けをな形で落下する。
0:15:51	としたほうが通常の流下を考えるよりもですね、
0:15:58	燃料棒から受ける先端といいますか、抵抗の影響が少なくなるということになります。大きくなるということになりますので、燃料棒周りに存在する水分の量としては大きくなるというので、
0:16:13	その集合体の中の流量ってどうっていうのを
0:16:18	詳細に仮定するよりかはもう保守的な状態として
0:16:25	貯水上流側ではなく、一応に形成されるとした場合の今回の設定をしたとお答えさせていただいたんですけどもそういう
0:16:38	そういう考え方をまず資料のほうに反映するという考え方を示すという、
0:16:45	コメント加東歩い認識したんですけども、理解としては培ったでしょうか。
0:16:52	規制庁鈴木です。我々液膜モデル。
0:16:57	がどれだけ適切な条件設定をしてるかってことについて説明性を求めたんじゃないんですね。
0:17:05	そもそも最適開くあくやることでしたけれども、今からでも採用制度上明確に分けたほうが求めてきてもらっていませんとホームページてますので、はい、大丈夫です。はい、すいませんよろしく桁
0:17:22	聞いた。
0:17:24	横形仕切ってくれば、
0:17:27	タケダ方向へ入ってます今、ごめんなさい。
0:17:30	はい。
0:17:31	切ってるんだけど。
0:17:33	スズキですけども、大丈夫ですか。

0:17:36	例えば様の声といったタケダさんのマイク切ってますっていうお声が入ってま すけども、これだけ。
0:17:45	はい。
0:17:46	いや、
0:17:47	この前ギャップのオープンな
0:17:50	スズキですけど、聞こえます。はい、大丈夫です。
0:17:53	しゃべってください。タケダさん、実際、
0:17:58	ですけど、聞こえますか。
0:18:00	はい、聞こえております。おかしいな。
0:18:04	はい。
0:18:05	あっちこっちも入っているのか。
0:18:09	聞こえましたです。
0:18:12	はい、武田さん、ほとんどスピーカーの
0:18:16	すみません、こちらの
0:18:19	ソフト設定がおかしかったので、これ。
0:18:22	システムをデスクトップマイクじゃないですけども、IAEAこちら一つちょっと
0:18:29	いけるんだとちょっとまずいんじゃないデスクトップマイクにしたら納得できるんじ ゃない。
0:18:36	ちょっとしゃべってるんです。規制庁スズキです。大丈夫ですか。
0:18:42	はい、ありがとうございます。はい、もう一度お話しします。
0:18:48	液滴モデル。
0:18:50	に対して条件をどう設定したら、
0:18:53	説明性があるかっていうことを我々が求めたのではなくてですね。
0:18:59	最適評価っていうものを今回やりますということに対してそこで液滴モデルを 選択することの説明性をやはりちゃんとして、しないとだめかなっていうことで、
0:19:13	タケダの方から指摘をさせていただいたということです。
0:19:19	どういう意味かって言うんですね、これまでは単相で
0:19:25	水密度を一様で密度を振るっていうことをやってたんですけども、
0:19:31	液位それを液滴モデルに、
0:19:34	液膜モデルに変えるっていう
0:19:38	ことに対して、どちらが本当の最適なのかっていうところは、
0:19:45	実際、
0:19:46	わからないわけですよおそらく。
0:19:49	先ほど説明があったように何かこう数字になって垂れていってますとかって言 ってるのは、審査会合のときには説明あったように流量が少ないとき
0:20:01	がそういうことは出るかもしれないけど流量多くなってくるとどうなるかよくわか らないねっていうところがあるのかなって思ってますねその辺がいやそこはち ゃんともう



0:20:12	現象は特定できてますっていうのであれば、
0:20:16	そういう説明になるだろうし、そうじゃなければどっちがいいのかっていうところは、
0:20:22	現象としてはよくわかってないっていうのが実際のところじゃないのかなっていうふうに思ってるんですね。で、じゃあこれをどっちを使うかっていう議論じゃなくって本当の最適って何なのかって議論しようと思っても多分その答えはなくてですね。
0:20:38	そうすると、じゃあ今回液膜モデルでやったことにおいて、結果が適合すれば、
0:20:46	許可が出るという話になったときに、
0:20:50	それって本当にそれだけでそれだけ確認すればいいんですかねっていうことを問われたときには、
0:20:57	答えがないんじゃないかなと思うんですね、そういったことを考えると、
0:21:02	最適評価って、少なくともこういうことを確認しておけば、よくってその中で合理的な保守性を持った条件設定をしているので、この評価っていうのは、
0:21:16	実現象よりか、
0:21:20	合理的に保守的な結果になっているんだろうっていうところまで説明できればですね、
0:21:26	最適とは言わないにしても、
0:21:30	より現実的な評価をしましたと。
0:21:33	いうところで落ちつけるんじゃないかなっていうふうに我々思っていて、そういったことを
0:21:38	ある程度説明性がないと。
0:21:41	駄目なんじゃないかなっていうことで、タケダのほうから指摘したと、そういったことです。
0:21:48	理解いただけたでしょうか。
0:21:51	はい。
0:21:53	今入って関西電力のフクハラです。御説明ありがとうございました。1点ですね、ちょっと少し我々考えが違うところもありまして、まず最後社員などの評価では
0:22:10	一様に水密度 一様に0から1位まで見ているモデルがありました。それを今回液位バンクがつくまで目配りも考慮したモデルにまかれるとしているんですけども、それってどっちがされていくかってわからない。
0:22:28	よねというご指摘ありましたけども、そこに関してはまず少なくとも我々液膜少なからず液膜ワーンと行ってる聞くとというふうなモデルのほうがより債最適とは言いませんけれども、現実に近いモデルであるというふうにはところは我々としても確信持っているところです。

0:22:50	そこはよろしいですかねその認識なんですけれども、規制庁それでそこも我々は確信を持ってないんですよ。
0:22:58	おそらく一定量はつくかもしれないけど一定量はつかないかもしれないし、だから、従来のモデルと今回のモデルの中間地点だってあるかもしれないし、全く違う様相になる。
0:23:12	うんということ否定できるかって言われると。
0:23:15	いや我々想像がつかないけど、何かしら別の発想する人が世の中にいるかもしれないし、
0:23:23	ちょっとそういうことを考えると最適っていうのがこれですっていうふうに言い切れる状態ですかってところが我々微妙かなと思ってるんですけど。
0:23:35	はい。
0:23:37	出されるのフクハラです。
0:23:40	比較相対的な比較の話になるんですけども、やはり従来の差を水密度0から1っていうのはあくまでその理論上の現象として、解析しているものだと思いますが、やっぱりその実現象を追いかけたものになっていないと。
0:23:59	思います。実現象としては今日学会で発表結果もこれいただきましたけれども上がるように、一定の利益っていうのが伴うような水の流下になるということは我々が欲しいというところです。その役務の
0:24:16	両方のつき方に対応が本当に最適なのかというところがあるときの議論のポイントだと思うんですけども、そこにつきましても、我々としては、説明のアプローチの中にありました通り、
0:24:30	そこが最適の量として、どの程度つくのかっていうのは正直そこは難しい議論で打ち切り型を議論してもなかなか結論でないと思うんだと思います。そこを我々としては、不確かさというところで液膜率100%と
0:24:46	いうことにしてまとめていっていますので、今回のモデル自体には十分な保守性があるのかなというふうに考えています。
0:24:55	規制庁スズキですよその関西電力が言っている。
0:24:59	おそらくこうなるだろうっていうのは試験でいろいろ見てますっていうところは、おそらく
0:25:04	私が考えるには、スプレイだとかそういったのを一様に分布させたりだとかしたような
0:25:12	集合体への流入量のときにはそんなのかもしれない。
0:25:17	っていうふうには我々もやっぱり思ってるんですけど、じゃあこれを
0:25:21	今、不確かさケースとして見ているような集中したいというときの条件にまでX程度できるんですかと。
0:25:31	いうところについては、介護のときにも若干関西電力から説明があったと思いますけれども、
0:25:39	液膜が非常に厚くなってくるような状態においても、そこまで

0:25:45	U.Lのかっていうところが渡り我々ちょっとよくわからなくてですね、その辺までx.度できるっていう、
0:25:54	何かしらのデータまでもった上で今言われているようなことを説明されるんだっ たら、それはそれで結構ですけども、そういったことを関西電力として考え方 をまとめて説明していただければいいかなと思うんですけども、
0:26:11	関西電力のフクハラです。局所に容量は集中した場合に2におきましてはで すね、名広く分布する場合よりも、
0:26:24	なおのことを
0:26:27	液膜からするというのが我々の考え方でございますけども、
0:26:36	一気に来週休下行数局所に集中すると、やっぱりそういうさん規制庁さんとし ては1泊。
0:26:47	モデル。
0:26:48	それから離れていくんじゃないのかというお考えをお持ちということですから、 規制庁水位です離れていくんじゃないかなっていうのがわからないっていう言 ってるんですね。
0:26:59	先ほど関西電力が説明された試験でも何か装輪液膜に近いようなものが見て とれてますっていうのが、
0:27:07	集中して集合体に入る流量が、
0:27:10	極端に多くなったような
0:27:13	時においても、そういった現象が
0:27:20	傾向として続いていくような
0:27:23	流量条件になるのかどうかってところが、考えているって先ほど言われました けど、
0:27:30	考えているのと説明できることは天と地ほどの開きがあるので、我々はそのを 説明をして欲しいという話をしてるんですね。
0:27:39	じゃあ、
0:27:41	うん。関西電力のフクハラです。
0:27:45	一定の説明っていうのは試みたいと思います満足いただけるかどうかちょっと 今の時点でわからないですけども、私が今まさにこのフクハラです。今イメージ してますのはやはり流量が多くなればなるほど、燃料集合体の上部ノズル、
0:28:04	一旦お皿のようにですね水がたまっ受け皿になってそこから流れていくという 形になりますので、おのずとやはりその液滴の状態で行く空間をそのまま落下 するのではなくて、何か物体電力さんに要望したいんですけども。
0:28:23	棒の表面を伝えながら、落ちていくということにならざるを得ないというふう には思います。そこについては納得いただけるかどうか自信ないんですけども、一 定の説明を試みたいと思います。その一方で、
0:28:40	先ほどご指摘いただいています。運営方式がその回答としましては、影響の 検討資料一番、

0:28:49	ですね、参考の4のシリーズでいろいろな種々の払ったファイルを行うことにしておりますけども、その中で、例えばこの4-1の解析になりますのでか、
0:29:06	液膜の厚さ方向、いろいろ見ながら、
0:29:12	今度はその体系を見ていくということになります。その結果でもってですね、
0:29:20	すべて均等にうまくできるのか、例えば筋状に内の人回って欲しいところがあったりするよねっていうことが
0:29:31	結果的に
0:29:34	分厚い液膜圧と
0:29:36	でも認可にならないという結果でもって包括的に説明できますよねというようなことも含めてうちもあるのかなというふうに考えていますけれども、そういった執行考え方で何か問題がございますでしょうか。
0:29:53	規制庁鈴木です。それで問題があるかどうかは聞いてみないとわからないので、説明をしていただければ結構ですので、一つだけ言ってきますと、
0:30:04	燃料のトップガイドの形状、
0:30:08	うんの場合は、沢山り量が減ってきたときに必ず
0:30:13	被覆管の表面を伝わって流れていく落ちていくはずですけどいうところは我々ちょっとわからないので、それはどうしてそうなるのかっていうところはちゃんと説明してください。
0:30:25	ちなみにあのBWRなんかでは、
0:30:29	トップが移動じゃないですけど上昇流を見ているときに、なるべく被覆管の表面に液滴をはかっへばりつい化しようと思ったときには、
0:30:42	製法講師のスプレーじゃなくて丸々型スプレーなんかを使って、
0:30:47	なお、なるべく平和率活用とかなんかいろいろそういったことをやってるので、
0:30:52	そういった何か理屈があって、
0:30:57	被覆管の表面を落ちていってたっていくはずですけどいうところは、その理屈まで含めて説明をしていただけるとありがたいです。私から以上です。
0:31:08	はい、ばかり電力の小原です。承知いたしました。
0:31:18	規制庁の武田です。他に何かございます。
0:31:24	なければまずは望めて解析を実施するんですけども、スケジュール感をちょっと教えていただきたいんですが、
0:31:37	関西電力のシムラ率等、
0:31:40	今回その解析に着手を始めるということで、スケジュールからとしては、
0:31:48	まずはその買い手企業景況記載の条件をまず取りかかるという。
0:31:55	バス停でさらにこの参考のほうでお示しさせていただいた資料の払ってたりしてですね、こちら設定ということだと場合と堆積の期間としては3週間程度をいただきたいなと考えてございます。
0:32:10	ですのでそちらで解析を実施しましたと資料提出をさせていただいて、今一度、

0:32:18	ヒアリングで御説明をするのかなと考えてございます。それから
0:32:27	はい、考えております。
0:32:29	規制庁の武田です。そうすると、当資料提出は11月の最後の週ってイメージですか。
0:32:38	JASMINEに関する12年11月6日中間12月ごめんなさい。12月の見込み集荷をちょっと
0:32:47	はい。
0:32:49	また離陸の信頼性そうですね資料提出としては2月6日の週になるかと考えてございます。
0:32:56	はい。12月3日の週に解析結果をいただければと思います。
0:33:03	じゃあえっと他に。
0:33:05	先生、
0:33:06	はい。
0:33:07	タケダかなといいますし、所々お待ちいただきたい。
0:33:11	ちょっとスケジュールセキ案ですけども、
0:33:17	週間後計算等の再春館ものもあって、
0:33:27	はい、そう。
0:33:28	関西電力の信頼性を大変失礼いたしましたちょっと解析のほうに3週間いただきたいとしますので、資料提出としては13の週になるかなと考えております。
0:33:42	。
0:33:43	規制庁の武田です。12月13日の週、はい。例えばですねわかりました。
0:33:52	そうですね。だからそっからちょっと結果から現在にできるかどうかと申します。
0:33:59	規制庁だけです。13日に出てきてからちょっとヒアリングの日程等も調整させていただいて、年内にできるかどうかも含めて検討させてください。
0:34:10	SARRYオカノシムラです了解いたしました。
0:34:14	じゃあ他に何かございますか。
0:34:17	こちらはないんですから関西電力の方から何かございますか。
0:34:23	関西電力シムラですね、特に追加確認ございません。はい、じゃあこれでヒアリングを終わりたいと思います。どうもありがとうございました。
0:34:32	やっぱこうありたいと思います。どうぞ。すいません。じゃあ終わりたいと思います。どうもありがとうございますございました。